公開用

# 令和元年度蕨市保健センター運営委員会　議事録

日　時　令和２年２月６日
午後１時３０分～午後３時
場　所　保健センター（健康教育室）

＜出席者＞

委員：飯野朗子委員長　羽根田高洋委員長代理　小泉紀子委員　平井恵子委員　飯田努委員　山脇紀子委員　大石圭子委員　保谷節子委員　佐藤則夫委員　加瀬勝一委員

事務局：石丸岳広所長　朝倉久美子保健指導係長　安治久美子庶務係長　鹿嶋恵美子保健師　細野亜紀子保健師

＜欠席者＞

委員：鈴木芳美委員

配布資料：①「資料　令和元年度蕨市保健センター運営委員会」、②「平成３０年度蕨市保健事業統計」、③「健康長寿蕨市モデル事業の参加者の推移」、④「妊娠届出書」⑤「妊産婦アセスメントシート」

議事

＜（１）平成 30 年度・令和元年度事業実施状況について＞

◆事務局説明：平成 30 年度・令和元年度の主な事業を中心に説明

○**委員**：成人保健実施状況について、がん検診の受診者数に対しての発見率はどれくらいなのか。

**事務局**：平成 30 年度蕨市保健事業統計にがん検診の実績として、発見がん数と発見がん数に基づいたがん発見率を掲載しているが、検診については健康な人が受けているので低く出ることがある。がん発見率は肺がん検診で 0.05%、胃がん検診の胃内視鏡検査では 0.2%、大腸がん検診では 0.09%となっている。

**委員長**：要精検と診断された人が精密検査を受けなかったために、せっかく見つかるチャンスがありながら治せるものが治せなかったということが問題になっている。事業統計を見ると 60 歳前後の人で要精検者となっても精密検査を受けていない人が多くいるが、未受診者について保健センターで何か把握しているか。

**事務局**：要精検者が実際受診したかどうか確認できるよう、未把握率を減らせるように検討していきたい。

**委員長**：一次検診の医療機関は精密検査で別の医療機関を受診してしまったら、どこの医療機関で精密検査を受けたのか、または受けていないのか把握できなくなる。要精検者本人が精密検査医療機関からの結果を保健センターに自分で郵送するしくみにすれば、本人の意識も高まって精密検査を受診する気持ちになると思うので検討してみてほしい。

**○委員**：現在、私は通院中のため定期的に病院で検査を受けているが、特定健康診査のご案内に同封されている同意書に署名をして病院へ持っていくと、病院からは後日、病院の健診センター等で健査を受けるよう言われるため、なかなか提出に至らない。この同意書について伺いたい。

**委員長**：これは医療保険課から郵送しているが、医療機関が保有している特定健診の項目に相当する診療情報を本人同意のもとに市に提供すると、特定健診を受診したことになる。ただし身長や体重など特定健診の項目に相当する診療情報が全て揃わないと特定健診を受けたことにならないので、足りない健査項目については後日病院の健診センター等で受診することになる。

**○委員長**：外国籍の人が増加しているが言葉の問題もあり、妊娠届出票の記入は職員だけでなく外国人ご本人も大変だと思う。保健センターではどのように対応しているのか。

**事務局**：妊娠届提出の際のアンケートは、本人が記入することは難しい。空欄のまま提出してもらい、後日訪問の際に質問しているが、相手に上手く伝わらないこともあるので、本当に聞きたいことが聞けているのか心配。子育て世代包括支援センターの補助金で翻訳機を購入したので、それを使いながらなるべく簡単な言葉でお伝えるよう努力している。

**○委員**：乳幼児健診が未受診のお子さんについては、どう対応しているのか。
また、どのような理由で未受診なのか。

**事務局**：乳幼児健診が未受診の人は外国籍家庭が多い。または要保護児童対策地域協議会の検討案件で取り上げ見守りを続けているケースの人で、兄弟も未受診が続いていて、私たちも受診するようフォローをしていてもなかなか来てもらえない状況となっている。

**委員**：現在、私たち民生委員は深いところまで話を聞くというより、何か困っている人がいたら市役所や地域包括支援センターなどへつなげることが仕事になっている。本人が求めていることを叶えるにはどの部署へつなげばいいのか、本人にとって一番良い方法を考えて紹介したいと考えている。

**委員長**：保健センターは妊娠期から見守っていくことが役割となっている。民生委員さんは何かあると見守りしてねと言われ、とても大変な立場だと思う。本人からこんなことが困っていると言ってくれるといいが、何も言ってくれなかったり声掛けしても曖昧だったりで、内に籠ってしまっている人ほど対応が難しい。

**委員**：私たちが訪問しても表に出て来なかったり分からなかったりする高齢者の方は、地域包括支援センターへつなぎ一度訪問してもらった上で、日常的なことは民生委員が見守るという形をとっている。

**○委員**：市内だけではなく埼玉県全体で外国人が増加しているので、妊娠届出書も外国人用の統一した書式があれば良いと思う。翻訳機だけではなく外国人用の妊娠届出書があれば、保存しておけるので検討をお願いしたい。

また、塚越の人は北町の子育て世代包括支援センターまで来るのが大変だと思うが、地区別の利用についてお聞きしたい。

**事務局**：訪問の際にご案内をしているが、塚越の人の予約件数は少ない。

**委員長**：外国人用の妊娠届出書は一度作成すれば今後使用できるので、有料でも予算を計上して英語や中国語などの妊娠届出書を作成してみてはどうか。

**事務局**：たとえば妊娠届出書の質問を中国語で記載した場合、回答も中国語になるので私たち職員が理解することが難しい。英語やその他の外国語でも同様になってしまう。今後、保健センターとしても工夫しながら対応していければと考えている。

**○委員**：塚越の人は初めに地域子育て支援センターで相談してもらい、保健センター内の子育て世代包括支援センターと連携していければ良いと思う。３６回あった相談日の開催状況や曜日は決まっているのか。

また、これから妊娠、子育てをするお母さん方は予防接種や健診の日程などの管理が大変で、アプリやラインを利用するなどいろいろな方法があると思うが、子育て世代包括支援センターとしてラインで相談できるとか推奨しているアプリ等があればお聞きしたい。

**事務局**：現在、民間事業者で作成されたアプリがいくつかある。他市ではアプリを活用しているところもあるし、今年度からは渋谷区がラインでの相談を始めたという話も聞いている。毎年、電子母子手帳がついているアプリを予算計上しているが、個人でもアプリを入れることはできるのでなかなか難しい。また、新しいものも出てきているので情報を取り入れ研究していきたい。

**事務局**：開催日程については、連絡をもらえば部屋の空き状況を確認して予約を入れているが、子育て世代包括支援センターは日常的に開催しているので直接来てもらっても相談は可能。

**○委員**：フッ化物塗布の受診率が１歳６か月でかなり高いが、大人や高齢者などの効果はどうか。

**委員長代理**：特に注目されているのは高齢者で歯茎が下がってきたときに、次の新しい虫歯に対応するには良いと思う。以前に比べ歯磨き粉に入っているフッ化物の濃度も上がってきているので、虫歯予防の観点からフッ化物は有効である。

**○委員**：事業統計に骨粗しょう症検診の結果が載っているが、転倒で要介護状態になる人

が多いので、検診結果は介護保険室と共有されているのか。介護保険室との連携についてお尋ねしたい。

**事務局**：検診の情報ということではないが、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に向けて取り組んでいくよう言われているので、今後は保健センターと介護保険室、医療保険課などの連携を検討していくのではないかと考えている。

＜（２）令和３度事業予定について＞

◆事務局：令和３年度に保健センターで予定している事業についての方針や新規事業について説明。

＜（３）その他＞

◆委員：新型コロナウイルス感染症について説明

◆事務局：保健センター運営委員会については、毎年２月の第１木曜日とし、来年度は、令和３年２月４日（木）の開催予定と案内。

午後３時００分　事務局より閉会を宣言